

調布駅前広場の検討経過（計画）

調布駅前広場検討図
H25.7 時点

平成12年
中心市街地街づくり総合計画

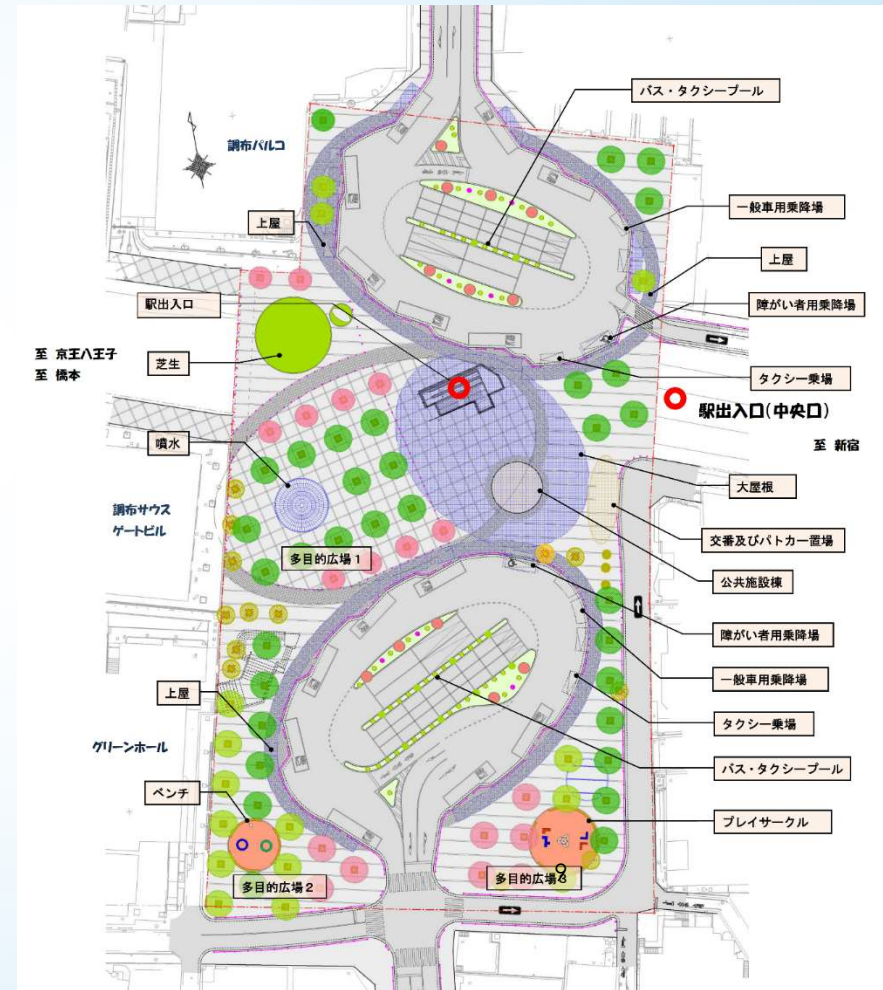
平成14年
都市計画変更

平成16年・17年
整備構想案（一次・二次）公表

平成20年・21年
中心市街地デザイン・コンセプト素案・案公表

平成22年・23年
基本設計案・修正案公表

平成25年
調布駅前広場検討図公表



調布駅前広場の検討経過（実施）

平成26年10月

調布駅前広場を街路事業として事業認可

平成27年11月

駅前広場内での地下駐輪場の都市計画決定

平成28年4月

地下駐輪場の事業認可

平成29年3月

樹木移植のための補正予算及び地下駐輪場の本体工事費を含む
本予算を市議会へ提出
⇒承認

平成29年4月・5月

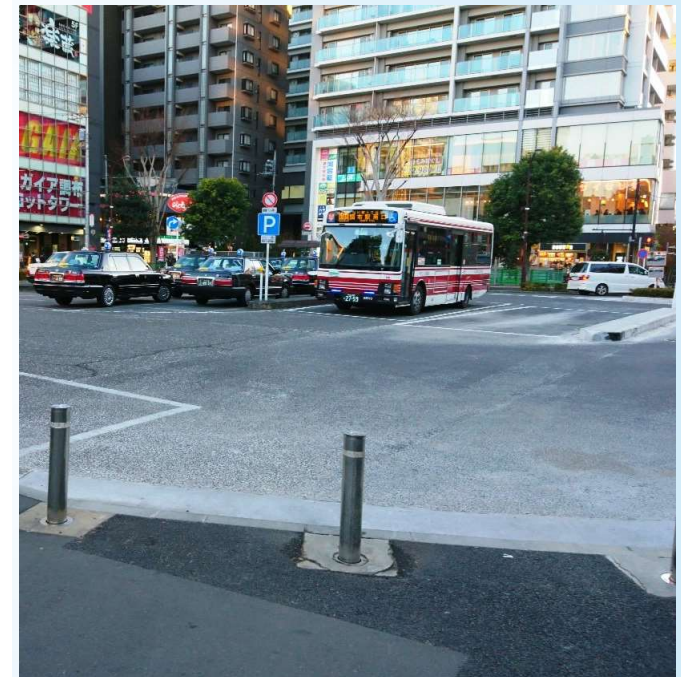
市議会の意見を踏まえ、市民会議を開催

平成29年7月

市民会議の内容を市議会へ報告

平成29年12月

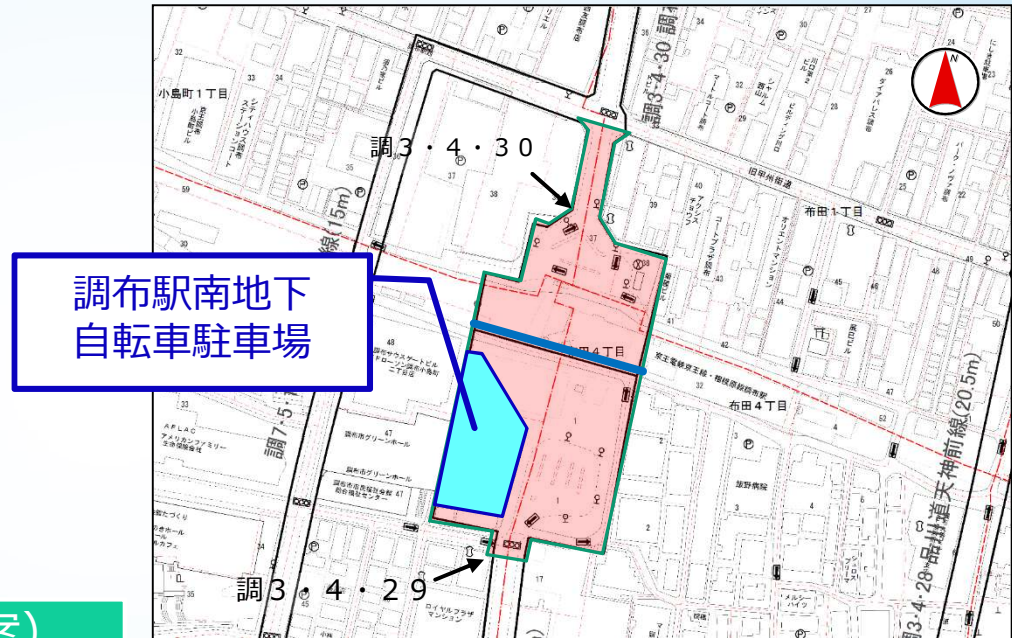
市民会議での意見等を踏まえた地下駐輪場の設計変更に関する
補正予算を市議会へ提出⇒承認
その設計変更を踏まえ、地下駐輪場整備を行う。



都市計画概要

名称：調布第2号調布駅南地下自転車駐車場

- ▶ 位置 小島町2丁目地内
- ▶ 面積 約2,900㎡
- ▶ 収容台数 約1,900台
- ▶ 階層 地下一層
- ▶ 出入口 2箇所
- ▶ エレベーター 1箇所



地下駐輪場整備スケジュール（案）

平成29年度	平成30年度	平成31年度
設計	工事	

一部設計変更を行い、その後速やかに工事に着手いたします。

樹木に関する市の基本的な考え方

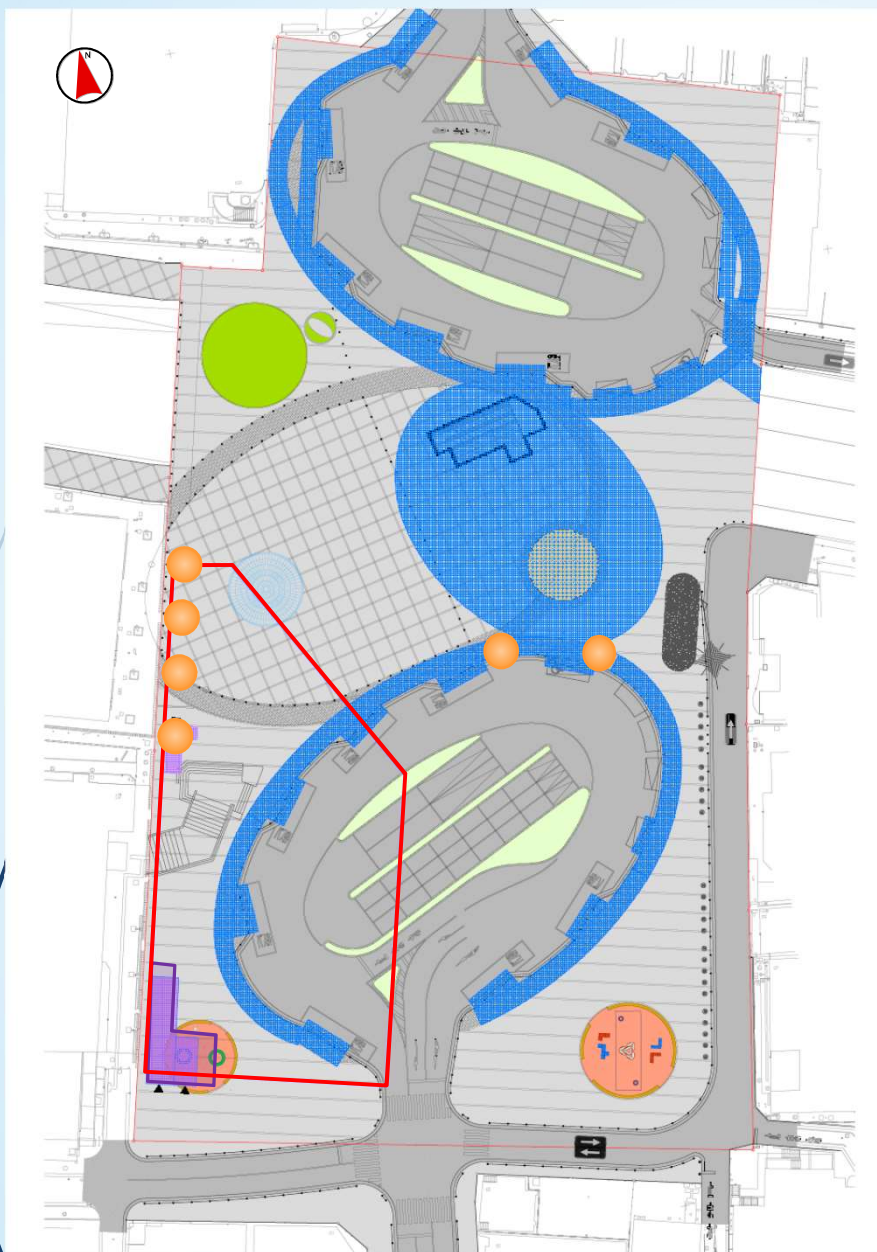
- 1 いちようなど、第一小学校由来の象徴的樹木はできるだけ現位置付近で残せるよう工夫するとともに、それらの象徴的樹木と明樹会の樹木が記念樹であることがわかるような表示を検討する。
- 2 その他の既存樹木については、最大30本を新しい駅前広場に再活用できる現行案を基本に、市民会議で頂いた意見を踏まえ、最終的にそれらをどこまでどのように活用するか（そのまま広場内に再移植するのかもしれないのか、ベンチ等に再利用するか等）は引き続き検討する。緑豊かでほっとする憩いの場としての調布駅前の良さを新しい広場でも継承できるよう樹種の選定や配置を工夫する。
- 3 一方で、イベント開催可能なにぎわい空間の確保や、高齢者や障害者等が安全に歩行できるようにすること、大規模災害時に避難者等の待機場所となり得ることも想定し、樹木が障害とならないよう配置を工夫する。

既存樹木の取扱い方針

○6本の既存樹木を現位置に保全するため、地下駐輪場の設計変更及び南側ロータリーの工夫を行う。

○その他、将来活用する樹木は一旦苗圃（苗木などを育てる畑）に移植し、将来の調布駅前広場で活用する。





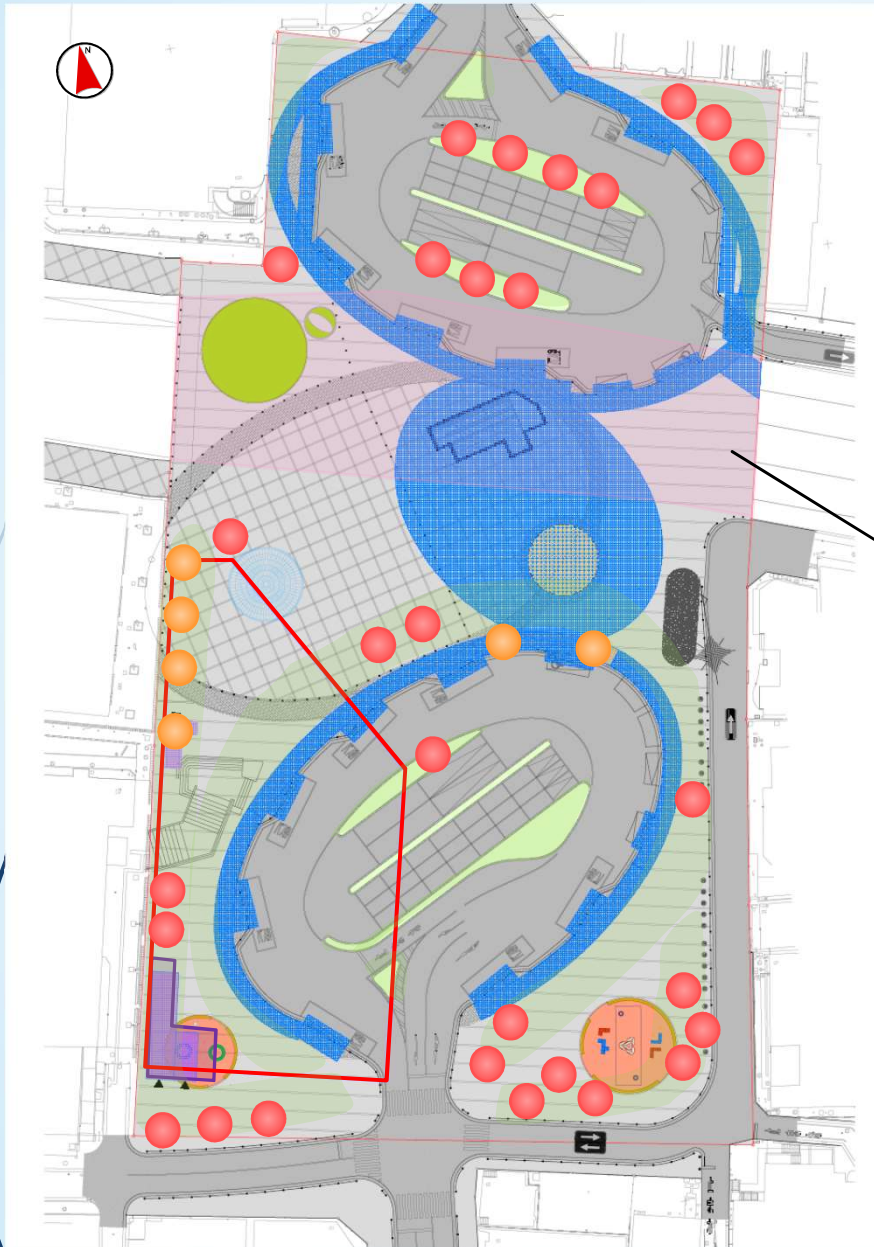
凡例

● ← 既存樹木

地下駐輪場については、
4本の既存樹木を現位置
に保全するため、設計を
変更する。

南側ロータリーについ
ては、2本の既存樹木を
残すために、線形の一
部変更を検討する。

調布駅前広場樹木配置箇所（案）



凡例

○ : 現位置保存樹木

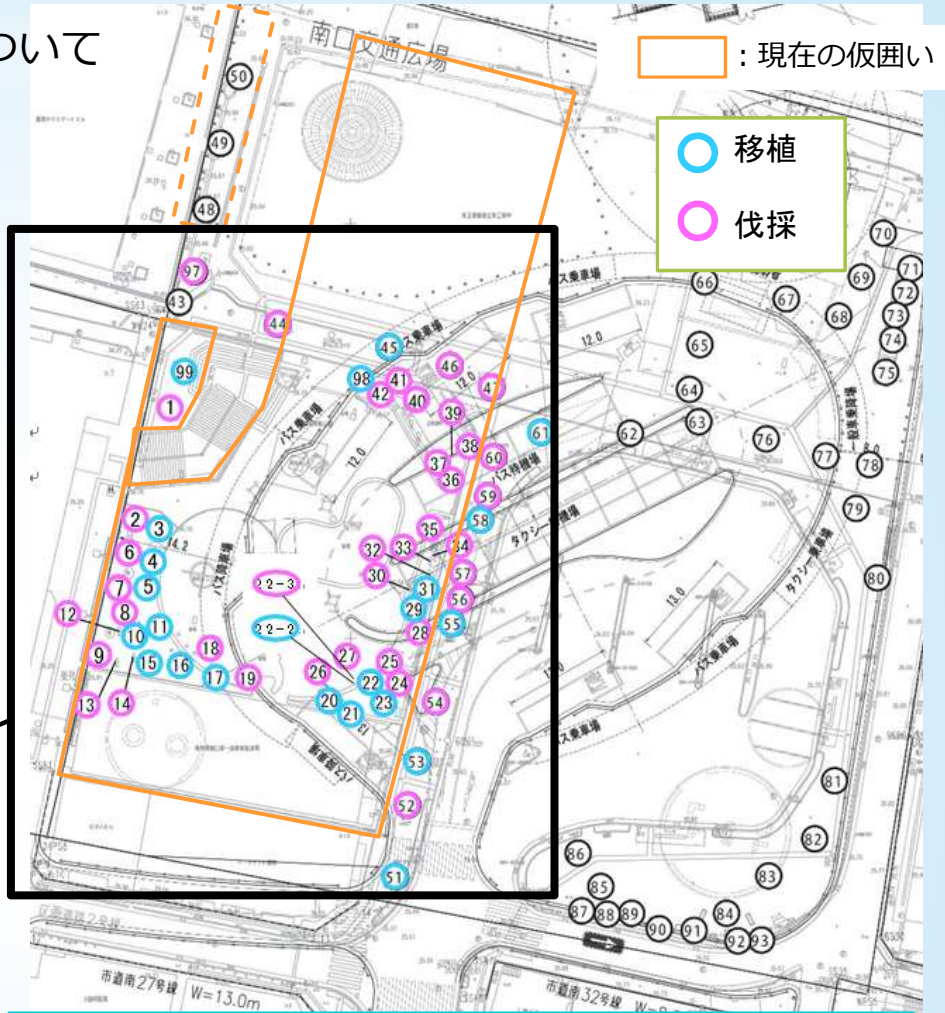
● : 活用する樹木

○ : 樹木配置予定箇所

鉄道上部にあたるため、
土被りや荷重を考慮し検討
する。

最終的な樹木の配置や樹種に
ついては、市民意見等を踏ま
えて検討する。

平成29年度の既存樹木の移植・伐採工事について



地下駐輪場整備の整備範囲（黒枠内）の既存樹木の移植・伐採工事を平成30年2月より順次行う。

※移植・伐採についての詳細は、1月30日の説明会でお知らせいたします。